

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '介護予防事業 (介護予防教室)' and '高齢者福祉の推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes a detailed description of the dementia prevention program.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for '二次予防事業対象者数', '二次予防事業参加者数', and '教室参加により改善した者の割合'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標), 期間限定総投入量. Includes sub-tables for '事業費内訳' and '人件費'.

Table with 4 columns: 27年度事業費実績 (千円), 28年度事業費予算 (千円), 合計, 0. Includes rows for '11 需用費' and '13 委託料'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes a list of activities: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	介護予防事業（介護予防教室）	事務事業No.	20602000024	所属課	高齢福祉課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

平成18年に介護保険法が改正され、介護予防が重視されるようになった。桜川市では、平成20年度に地域包括支援センターが設立され、事業の実施にいたった。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

教室に参加したいが、会場までの移動手段がなく、参加できない。法改正により二次予防事業は廃止となるが、教室終了後も継続したい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

介護予防教室の参加者を増やすために二次予防対象者に介護予防の重要性がわかるような教室勧誘のチラシを作成し、配布する。基本チェックリストの改善率が上がるように、改善率の悪かったプログラム内容を見直す。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	高齢者が生きいきと暮らすためには介護予防が必要であり、高齢福祉の推進につながっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	介護保険法に位置づけられたものであり、妥当であった。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	法改正により、二次予防事業が廃止となり、一次予防・二次予防の区分がなくなる。対象者や意図の見直しが必要である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	高齢になると外出する機会が減り、閉じこもりや運動機能の低下などにつながるため、定期的に通える介護予防教室が必要。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的な手段、事務事業名 高齢者生きがいと健康づくり推進事業 H29年4月からの新しい総合事業の開始により二次予防事業は再編されるため、再編までの間、介護予防事業が滞らないよう社協に事業委託して実施する。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	教室の講師をボランティアに依頼することで事業費を削減することができる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	二次予防対象者把握事業の該当者を対象としているため公平であった。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	二次予防対象者把握事業により該当者になった者を対象としているが参加者が少ない。H27年介護保険法の改正により、二次予防事業は再編され、新しい総合事業の中で実施することになる。今後は健康寿命が延伸できるよう意識付けをし、自ら積極的に介護予防に取り組めるようにする必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	-																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 介護保険制度改正にともない廃止となる。今後は、新しい制度の中で再編、実施していく。